

2024年度（令和6年度）4教科指導重点目標

{ 国語 }

テーマ「言語活動を通じて、読解力・表現力を育成する」

1. テーマへの取り組み

①語彙力を付ける。

- ・辞書を使いこなす。
- ・言葉のスピーチを行う。

3年：慣用句

4年：ことわざ、故事成語

5年：四字熟語

6年：上記全て

②表現力を付ける。

- ・その場にあった声の大きさ、速さで話す。
- ・最後まで自分の言葉で話せるようにする。
- ・自分の思いを言葉で表現できるように意識していく。
- ・朝の会、帰りの会でスピーチを行う。

→1, 2年…1分間スピーチ、本の紹介

3年…1分間スピーチ、言葉のスピーチ

4～6年…ニュースの紹介、言葉のスピーチ

③漢字小テストを実施し、漢字力の向上を図る。

④読書指導

- ・図書室を活用する。

2. 副教材

- ・漢字ドリル（全学年）
- ・基本トレーニング 読解力（4～6年）
- ・でる順過去問 ことわざ・語句・文法（5、6年）

{ 社会 }

テーマ 「基礎・基本の学習の確実な定着と発展学習を通して、自ら学ぶ意欲を育て、幅広い知識を習得する」

- ・基礎基本の定着を確実に図る。
- ・授業の中に社会科関連の豆知識を入れ、興味関心を高める。
- ・資料から読み取る力、資料を活用する力を付ける。
- ・本物を見て触れることにより学習意欲を高める。

1. 各学年で指導する発展学習内容

- 3 学年・・・地図記号を覚え、全国の都道府県名をひらがなで書けるようにする。
- 4 学年・・・全国都道府県名、県庁所在地名、8 地方名を漢字で書く。
(学習進度は教科書の進度で千葉県、成田市の学習をする。)
- 5 学年・・・問題集（ピラミッド）を使って知識を増やす。
- 6 学年・・・問題集（ピラミッド）を使って知識を増やす。

2. 力を付けるために問題集、副教材を使用する。

- 3 学年・・・インターネットで無料で使えるプリントを活用する。
 - 4 学年・・・全国都道府県名、県庁所在地名、8 地方名の学習でインターネットで無料で使えるプリントを活用する。
 - 5 学年・・・ピラミッド社会小5、社会科資料集
 - 6 学年・・・ピラミッド社会小6、社会科資料集
- ※全学年、アプリを使って自分で学習する。

3. 社会科校外学習（予定）

- 3 学年・・・学校周辺探検、スーパーマーケットイオン、日本食研工場見学
房総のむら・成田消防署
- 4 学年・・・成田富里いずみ清掃工場、リサイクルプラザ、
銚子漁港（市場）醤油工場、伊能忠敬記念館
- 5 学年・・・製鉄所、現代産業科学館
- 6 学年・・・国会議事堂等、租税教室、歴史博物館

{ 算数 }

テーマ 「基礎基本の定着と、思考力の育成」

～互いに学び合う活動を通して～

1. 一人一人の児童の実態に応じたきめ細やかな指導を行う。

1～3年生・・・TT（ティームティーチング）指導

4～6年生・・・少人数指導

2. 学び合う力を育てるために、以下の手立てを講じる。

①学習過程の主に「比較検討」の場面で、お互いの考えを共有し合う中で、考えを深化させたり、自分の考えが相手に伝わるように話す力を向上させたりする。

②学習過程の主に「自力解決」の場面で、よい解決方法を見出せない児童が、友達の考えを聞くことで思考の一助とし、自分の考えを持つことができるようにする。

③学習過程の主に「適用」の場面で、早く終わった児童が教え役となり、終わっていない児童への助言を行う。

★4～6年生は、iPadを有効活用する。

3. 毎週1回の「計算タイム」を活用し、計算力の向上を図る。

4. 副教材を活用して、基礎基本の定着と発展力を養う。

1年生 くりかえし計算ドリル 計算ばっちりノート
計算のたしかめ

2年生 くりかえし計算ドリル 計算ばっちりノート

3年生 くりかえし計算ドリル 計算ばっちりノート

4年生 くりかえし計算ドリル 7級・6級計算基本トレーニング
(ドリルプラネット)

5年生 マイクエスト5年
くりかえし計算ドリル 5級・4級計算基本トレーニング

6年生 マイクエスト6年
くりかえし計算ドリル 3級・2級計算基本トレーニング

{ 理科 }

テーマ「実験・観察の充実を図り、科学的なものの見方・考え方を身に付けさせる」

1. 今年度の重点

○科学的な思考過程を踏まえた学習活動を展開する

①問題を見つける・立てる ②予想と計画 ③実験・観察・調べ活動

④結果から考える ⑤まとめる

- ・実物、本物に触れる。実際にやってみることを大切にする。
- ・生活経験と結び付けて考えさせる。
- ・実験の手順、観察の視点等をしっかりと理解させてから取り組ませる。
- ・必ず予想を立てさせ、実験結果との比較検討を行う。
- ・自分の言葉でまとめる。

○ICT 機器の有効活用を推進する

- ・視聴覚教材（デジタル教科書・NHK for school）の活用
- ・iPad を活用した調べ活動、実験観察の記録（観察カード・新聞等）の推進

※3・4年生は、学年配当の単元を、時間をかけ丁寧に指導する。実験や観察・観測を充実させ、実体験を伴った理解を目指す。中学年では、基礎基本の確実な定着と、理科学習の流れや科学的なものの見方・考え方の素地を養うことに重点を置く。

※5・6年生は、入試対策を授業の中で行う。

2. 力を付けるための問題集・副教材を使用する

5年生・・・ピラミッド理科小5（問題集）

中学入試 理科のつまずきを基礎からしっかり（問題集）

6年生・・・ピラミッド理科小6（問題集）

中学入試 理科のつまずきを基礎からしっかり（問題集）

3. 必要に応じて、児童個々に観察・実験セットを購入させ、より効果的な学習活動を目指す。